

古川宇宙飛行士・宇宙飛行記念品の展示を開始

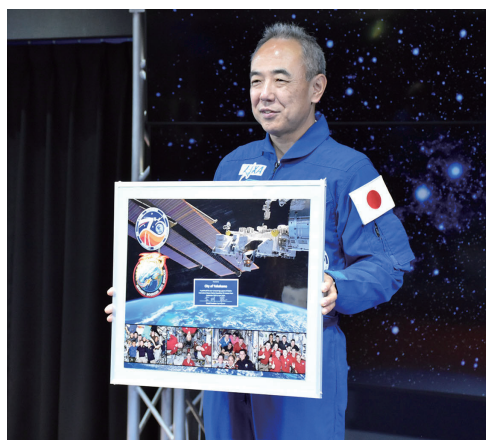
はまぎん こども宇宙科学館（館長：的川泰宣）は、古川宇宙飛行士から横浜市に返還された宇宙飛行記念品を展示します。この記念品はみなとみらい21地区の写真をプリントした旗で、2025 年 1 月 20 日に「宇宙飛行記念品返還式」にて宇宙航空研究開発機構（JAXA）古川 聡宇宙飛行士から横浜市に返還されたものです。

■ 掲示する記念品について

旗には古川宇宙飛行士の出身地である横浜市を代表する風景の写真がプリントされています。2023 年 8 月 26 日～2024 年 3 月 12 日（199 日間）に古川宇宙飛行士が国際宇宙ステーション（ISS）長期滞在ミッションに参加した際に横浜市が提供したもので、宇宙飛行記念品としてともに滞在を果たしました。また宇宙飛行記念品のほかに、旗が宇宙飛行したことを証明する「宇宙飛行証明書」（NASA 発行・古川宇宙飛行士の署名付）と、ISS 滞在中にクルーとともに撮影した写真とご本人の署名が入っている記念パネルが贈られ、これら3つは、はまぎん こども宇宙科学館内 5F 宇宙船長室にて掲示中です。



宇宙飛行したみなとみらい21地区が写っている旗
（左）古川宇宙飛行士（JAXA） （右）的川 泰宣館長（JAXA 名誉教授）



記念パネル

■ 古川宇宙飛行士について



古川 聡（ふるかわ さとし）

1964 年生まれ。神奈川県横浜市出身。2011 年に第 28 次 / 第 29 次長期滞在クルーとして国際宇宙ステーション（ISS）に約 5 ヶ月半滞在し、「きぼう」での実験や ISS の維持管理を行ったほか、最後のスペースシャトルとなった STS-135 ミッションの支援などを実施した。2023 年から 2024 年にかけてクルードラゴン宇宙船運用 7 号機（Crew-7）に搭乗し、第 69 次 / 第 70 次長期滞在クルーとして ISS に約 6 ヶ月半滞在。「きぼう」日本実験棟を含む ISS において、地上では得られない宇宙での微小重力環境を使い地上の生活を良くする様々な実験や、有人月探査やその先に向けた技術実証等を行った。

【お問合せ】取材申込についてはこちら

取材を希望される場合は、下記担当までご連絡ください。

はまぎん こども宇宙科学館 広報担当：三田 E-mail: sfgy-press@yokohama-kagakukan.jp

住 所：〒235-0045 神奈川県横浜市磯子区洋光台 5-2-1（JR 洋光台駅より徒歩 3 分）

T E L：045-832-1166（受付時間 9:30～17:00） F A X：045-832-1161

U R L：<https://www.yokohama-kagakukan.jp>